

# 2025年度 サッカー3級審判員上申講習会について

2025年4月

室蘭地区サッカー協会審判委員会

## 【1】上申対象審判員

- (1) 年齢：年齢制限は設けない。
- (2) 身体能力、人間性：室蘭地区サッカー協会主催の試合の主審を務めることができること。
- (3) 資格および技能：サッカー4級審判員で、室蘭地区サッカー協会が主催する試合の主審を行う技能を有すると所属地区サッカー協会が認める（地区審判委員担当の推薦する）、自薦する者であること。
- (4) 審判実績：サッカー4級審判員として10試合以上審判を行っていること（うち5試合以上主審を務めていること）、またはサッカー3級審判員として活動するに顕著なサッカー歴を有すること。

注1) 4種の試合については、1日2試合まで審判実績として計上できる。

注2) 顕著なサッカー歴については、室蘭地区サッカー協会が判断する。

(5) その他：

- ① 3級審判員に昇級後は、室蘭地区サッカー協会や所属地区協会の審判活動に積極的に従事できること。  
昇級年度の更新はeラーニング更新では無く、室蘭地区審判委員会主催更新講習会を受講すること。
- ② 参加者は、講習会参加にあたって、不慮の事故や疾患に関する一切の責任を自己で負うことができること。

【2】開催期日 2025年5月～10月

【3】開催場所 室蘭地区内

【4】受講者数 若干名

【5】認定方法 以下に示す(1)～(3)の全てに合格すること。

(1) 実技試験

- ① サッカー2級審判員認定に適切な難易度の試合（都道府県リーグ1部相当）で実施する。

※ 「社会人リーグ（1種）、地区U18リーグ（2種）、地区U15リーグ（3種）」試合時間60分以上を、主な対象とし、各種別審判担当者がサッカー3級審判員の上申に適切であると判断した試合を対象とする。

② サッカー3級審判インストラクター以上の資格を持つアセッサー1名が評価をする。

1試合実施し、評価が「8.0以上」で合格とする。※アセスメントレポートを使用

③ 実技試験で「不合格」となった者は、次年度再上申を希望する。（再度、受講料が必要。）

④ 実施期間：2025年5月～10月

（2）体力試験 以下の基準の体力テストに合格すること。（実技試験合格者のみの別途実施）

IntervalTest ランニング75mを20秒、ワーキング25mを25秒を10回トータル距離1000M

③ 実施日・会場未定

1回目：9月 2回目：11月を予定

（3）学科試験

① 室蘭地区サッカー協会審判委員会が作成する「学科試験問題」を使用し、70点以上を（100点満点）合格とする。学科試験に不合格の場合、69点～50点は追試を受けることができる。

② 「学科試験問題」は、「LAWS of the Game2024/25」から出題する。

<出題範囲>

- ・ 競技規則に関する付記
- ・ 競技規則 2024/25（特に第12条は必須）
- ・ 競技規則の改正 2024/25 ・用語集
- ・ 審判員のための実践的ガイドライン
- ・ 日本語版付録（主審と副審のシグナル、対角線式審判法、アディショナルタイムの表示の仕方、  
（審判報告書の記入上の注意）

<出題レベル>

サッカー4級審判員の目標に十分到達していることが、サッカー3級審判員の合格規準と考え、サッカー4級審判員の重点項目（知識・経験）として示されている内容を出題レベルとする。

○ サッカー3級審判員の目標：

適切な動きやポジショニング（対角線式審判法）によって、事実を見極め、的確な判定で、試合を正しく進めることを追求する。

・重点項目（知識・経験）：

サッカー競技の特徴および競技規則の解釈と適用の知識（ファウルの条件、懲戒罰など）、行うべきことと監視すべきことの実践的知識、審判報告書作成方法

③学科試験を実施する前に、競技規則に関する講習を60分実施する。

④実施日案内等は、地区協会HP等で掲載予定です。

室蘭地区サッカー協会審判委員会委員長—鈴木敏晴